

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-41		施設整備事業(終末)							
	□支 援 部 門									
主管課	下水道河川課(下水道課)	関連課	浄化センター							
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	供用開始人口の増加に伴う水処理能力を確保する。 年間の流入汚水量が減少しているため、下水道終末処理場の水処理能力(56,000m ³ /日)を再検討する。									
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人						
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
	事業の対象者数	171,528人	171,165人	171,024人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	113,930	59,640	0						
	(国・県)	52,200	33,548							
	(負担金等)	52,545	23,400							
	(一般財源)	9,185	2,692							
	人員配置数	0.3	1.0							
	人 件 費(千円)	2,620	8,786							
	協 働 の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	116,550	68,426							
	市民1人当 りの経費(円)	658	386							
	対象者1人 当りの経費(円)	679	400							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市					
	人口(千人)	3,627.0	177.2	408.9	236.5					
	処理人口(千人)	3618.5	171.2	386.4	225.0					
	率	99.8	96.6	94.5	95.1	H22末普及率				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
日最大流入汚水量(m ³ /日)	○	目標値	46,700	46,700	46,700	46,700	46,700			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を越え 〇後退		実績値	35,200	37,180	41,050					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
施設整備事業	113,930千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
	事業の概要	山崎下水道終末処理場の汚泥処理設備増設工事を実施													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	下水道処理場の設計、整備には、機械、電気等の専門知識を有する職員が複数必要となる。
課題解決のための取組	日本下水道事業団に委託することにより、職員の増員等を避けることができた。 近年、節水型機器の増加や節水志向等から年間の流入汚水量が減少しているため、水処理施設の能力について再検討を行う。
未解決の課題	今後の増設について、上位計画の「境川等流域別下水道整備総合計画」との整合を図りながら事業を進める必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		↓ B	課長等名 下水道河川課担当課長 大坪 隆 下水道河川課課長代理 杉田 公敬
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
施設整備事業	主な個別事業	544 山崎下水道終末処理場汚泥処理設備工事委託料	149,300	109,500	■適切 □見直し余地あり
		544 鎌倉市公共下水道終末処理場未利用エネルギー利活用検討調査業務委託料	12,000	4,430	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり